

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 417 号	氏名	久芳さやか
学位審査委員	主査 田口 尚 副査 永安 武 副査 増崎英明		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 乳癌の中でもリンパ管侵襲が高頻度である浸潤性微小乳頭癌(IMPC)は腫瘍細胞の極性が反転する inside-out growth pattern(IGP)を特徴とする。本研究は、通常型浸潤性乳管癌における不完全 IGP の出現を、リンパ管侵襲、リンパ節転移および予後などとの関連において検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 通常型浸潤性乳管癌 166 例を用いて、epithelial membrane antigen(EMA)と D2-40 の免疫組織化学的検索を行い、腫瘍内リンパ管の分布、リンパ管侵襲、リンパ節転移、予後などの臨床病理学的因子を不完全 IGP との関連において統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、不完全型 IGP は通常型浸潤性乳管癌の 53%に見られ、リンパ管侵襲、リンパ節転移および無再発生存率と相関していることを示しており、乳癌の進行機序に新知見を加えたものとして高く評価され、今後の乳癌の臨床病理学的研究へ新たな方向性を示しうるものとして期待される。</p> <p>以上のように本論文は乳癌研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			